

能登半島地震で被災され、厳しい状況が続く多くの皆さまに、心よりお見舞い申し上げます



もっともっとクイズ

今年のかほく四季まつりキャッツフェスタの特別ゲストは？

- ① ロッチ ② ロッテ ③ アチチ

解答と一言コメント・お名前・ご住所を明記のうえ、FAX・はがき(63円)・メールにて当店まで(7/24必着)。正解者の中から3名にかほく市商品券をプレゼント。前回正解は③母でした。当選された方には賞品をお届けしております。

北陸中日新聞 かほく北販売店 麻生新聞店

〒929-1215

かほく市高松コ7-1

TEL 281-0856 FAX 214-5207

Mail hamanasu417@gmail.com

HP はまなす通信.com

HPリニューアル中!どうぞお越しくださいませ

《チョコッと耳より地元情報》

額(ぬか)神社の茅(ち)の輪くぐり

右の記事のように、当店隣の額神社で、今年初めて茅の輪くぐりが行われました。野次馬根性丸出しの浜防風、地の利を活かし事前準備から覗かせて頂きましたよ。材料調達をはじめ、組立、神事の段取りなど、お世話されていた自治文化協会の方々のお姿を、間近で拝見。蒸し暑い中(そして神事の折は雨!),本当にお疲れ様でした。初めての事ばかりと思われるのに、さすが人生経験豊富な方々、あれこれと相談して知恵を出し合って進められてました。神事が終わり、ひと息つかれた社殿での、清々しい笑顔が心に残っています。もちろん自分も輪をくぐって無病息災、家内安全を祈ったわけですが、あのたくさんの笑顔から頂いた前向きな明るいパワーの方が、ご利益ありそうと思ってしまったくらい。というわけで、特別紙面にてその様子を紹介いたしますね。茅の輪は15日まで設置されています。(今回「チョコッと」じゃないな、と今気づいた浜防風)

かほくの額神社 「茅の輪」を設置 無病息災を祈願 28日、残り半年の無病息災を祈願する「茅の輪」が設置された。地元の高松自治文化協会が今年初めて製作した。今年上半期のけがれをはらうのと、神社を訪れる人をさらに増やそうと企画し、会員8人で作った。この日、午前8時に神事が営まれた後、地元住民たちは早速、8の字を描くように直径約2.5mの茅の輪をくぐっていった。多々見邦次会長(78)は「今年は無病息災が実現し、上半期は大変だった。残り半年は何事もないうつらう願って、初の試みで茅の輪を作った。今年の評判をみて、来年はどうするかを考えた」と話した。茅の輪は7月15日まで設置される。(栗田啓石)



初めて設置された茅の輪をくぐる地元民たち。かほく市高松の額神社で



6月29日付本紙記事と、取材を受ける多々見邦次自治文化協会会長

『茅の輪くぐり』とは...

茅の輪くぐりは「夏越のお祓い」として行われる儀式。参道の鳥居などの結界内に、茅(ちがや)という草で編んだ輪を作り、これをくぐることで心身を清めます。その年の前半の穢れを清め災厄を払う神事で、その後の後半を穏やかに過ごせるようにと祈る行事です。いこしえ、夏に多かった疫病の流行に備え「厄払い・無病息災」を祈願して始まったものだそうです。

茅の輪造り密着ルポ

1 自治文化協会の方々があちこち奔走し、手ごろな部材や茅などを採取。

2 材木、笹などで骨組みをくみ上げます。



船頭ならぬ棟梁が多くて...!? でも楽しそうで、和気あいあい

3 秘伝の「漁師結び」。見事に茅(ちがや)を等間隔にぎゅっと一気に締め上げます。



4 雨除けのビニール袋を装着 雨対策拔かりなし!

祝!完成

5 転倒防止のため、下は地面に密着させて...



これで、ご高齢の方や、お子さんのお参りも不安なし!



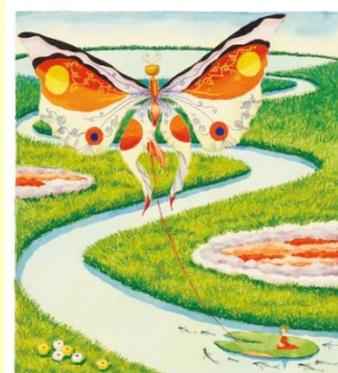
神事のあと輪をくぐり、美味しい氷室饅頭を頂きました♡



達成感あふれる笑顔に感動♡ 自治文化協会の皆さま、お疲れさまでした



北陸中日新聞主催事業のお知らせ



武正井 雄 展 生誕130年

2024.9.7 [土] 10.6 [日] 会期中無休 石川県立美術館

~幻想の世界へようこそ~